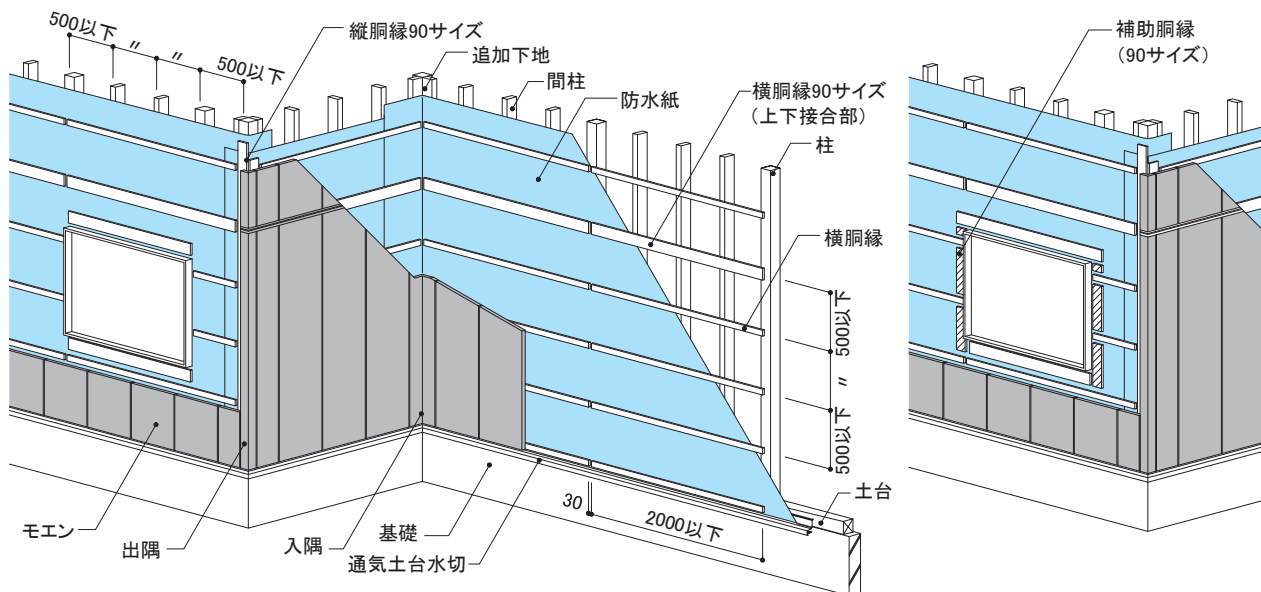


1 モエン標準施工法

1-13 胴縁下地組み

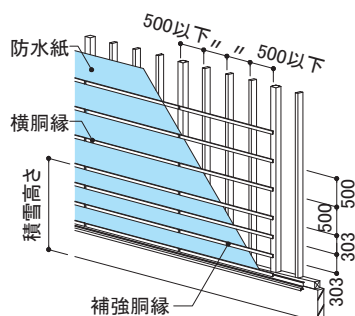
5) 横胴縁仕様

- 横胴縁は2000mm以下の間隔で30mm程度の隙間を設け、通気を確保する構造とします。
- 横胴縁と出入隅部・開口部まわりの胴縁は、30mm程度の隙間を設け、通気する構造とします。
- 入隅部や出隅部などで胴縁が躯体に留め付けられない場合は、追加下地を設け、必ず下地に留め付けます。
- 開口部左右で、モエンの割り付け幅が100mm以下となる場合は、補助胴縁を追加します。



積雪地域での胴縁組み

- 積雪地域では雪の圧力でモエンが割れないよう、雪の積もる高さまで横胴縁を303mm以下の間隔で留め付けます。
- ※下屋根部分も同様の胴縁組みをしてください。
- ※金具施工の場合、金具の高さに合わせてスペーサーを胴縁及び補強胴縁に取り付けてください。



注意 下図のように2000mm以下の間隔で30mmの隙間を設けて施工してください。隙間がないと、通気がとれず凍害など不具合の原因となります。

